

衛研第2 - 46号  
平成30年 2月14日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 結核の届出状況（月報）
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493 - 59 - 9325  
FAX 0493 - 59 - 9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 平成30年第6週（平成30年2月5日～平成30年2月11日）

## 今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、E型肝炎2人、レジオネラ症1人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人、急性脳炎2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症3人、百日咳4人、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**インフルエンザ**(68.29 51.37：図1-4)の定点当たり報告数は前週より減少したが、過去3シーズンのピークと同等で、依然高い水準である。保健所別では、幸手(71.43)、春日部(67.10)、川越市(63.38)、越谷市(60.23)保健所管内の順に多い。第3～6週の4週間(1月15日～2月11日)に採取されたインフルエンザ検体からは、B型(山形系統)が107件(60.8%)、AH3型が40件(22.7%)、AH1pdm09型が29件(16.5%)検出された。基幹定点報告対象疾患である**インフルエンザ(入院)**の報告数(33人)は前週と同数であった。年齢階級別の報告患者数は70歳以上が約7割を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.68 2.91)の定点当たり報告数は、前週と比較し同水準であった。保健所別では、春日部(8.00)、川口(6.71)保健所管内で多い状況が続いている。

眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**1人、**流行性角結膜炎**30人(前週は25人)の報告があった。他の基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎**3人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし(結核を除く)
三類感染症	報告なし
四類感染症	E型肝炎 2人(推定感染地域 国内2人)
	レジオネラ症 1人(病型 肺炎型)
五類感染症	アメーバ赤痢 1人(病型 腸管アメーバ症)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人(菌種 <i>Klebsiella</i> sp.)
	急性脳炎 2人(病原体 不明2人)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人(血清群 B群)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人
	侵襲性肺炎球菌感染症 3人
	百日咳 4人
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 1人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。  
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613  
e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

# インフルエンザ流行情報（第6週） 小児科定点・内科定点からの報告

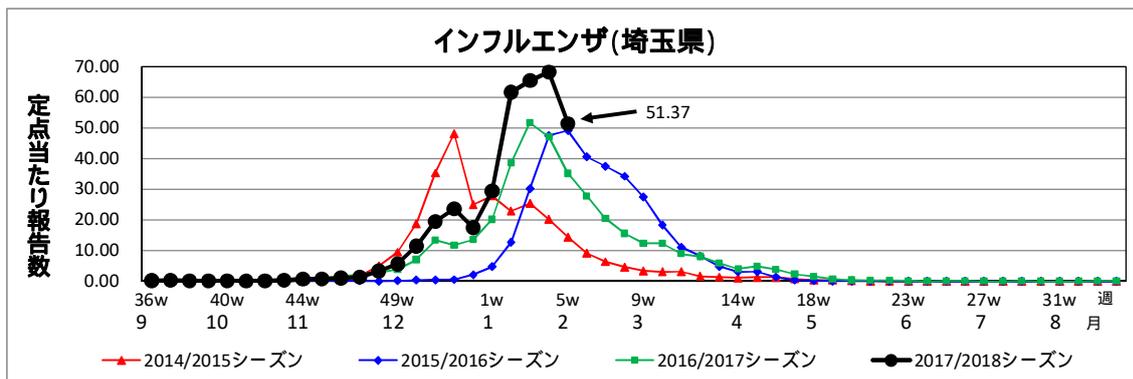


図1 定点当たり報告数の推移

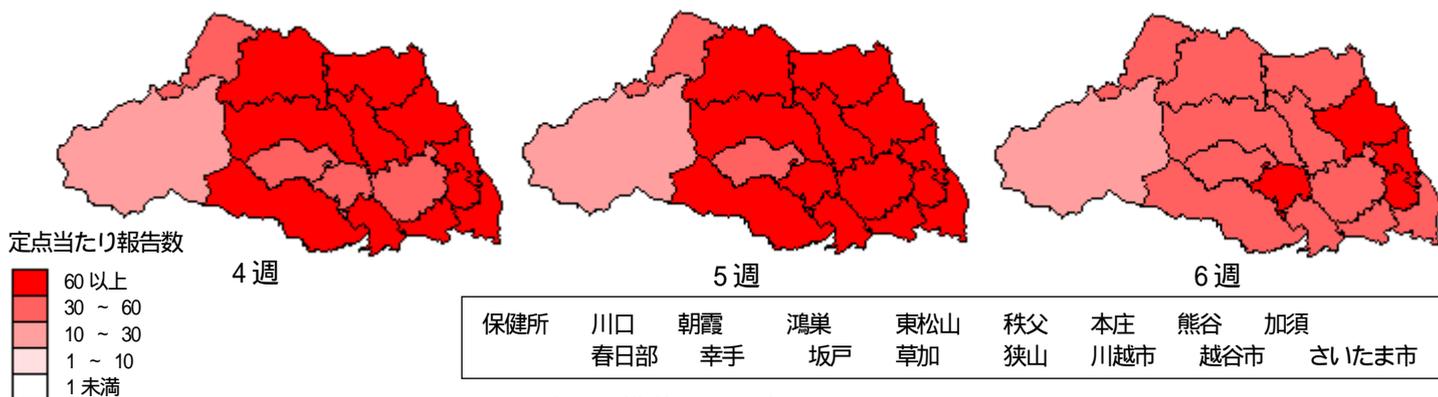


図2 流行の推移（2018年4週～6週）

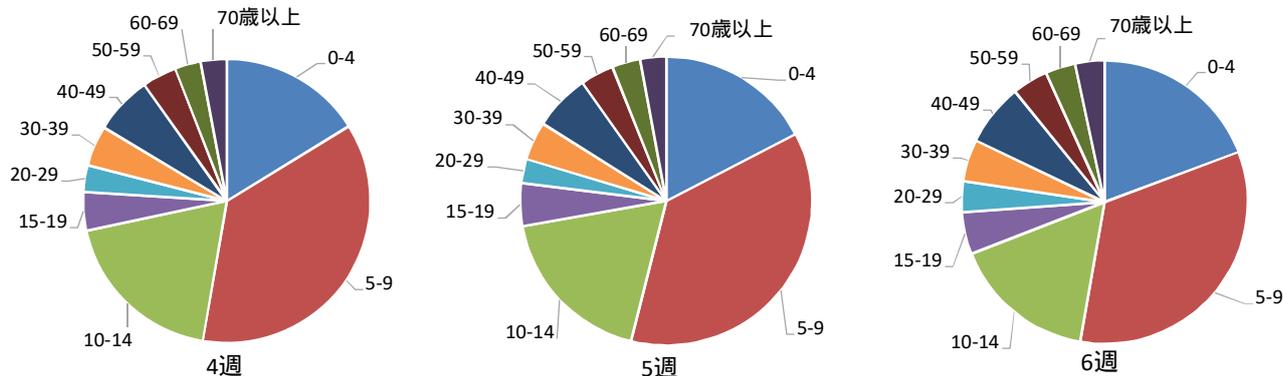
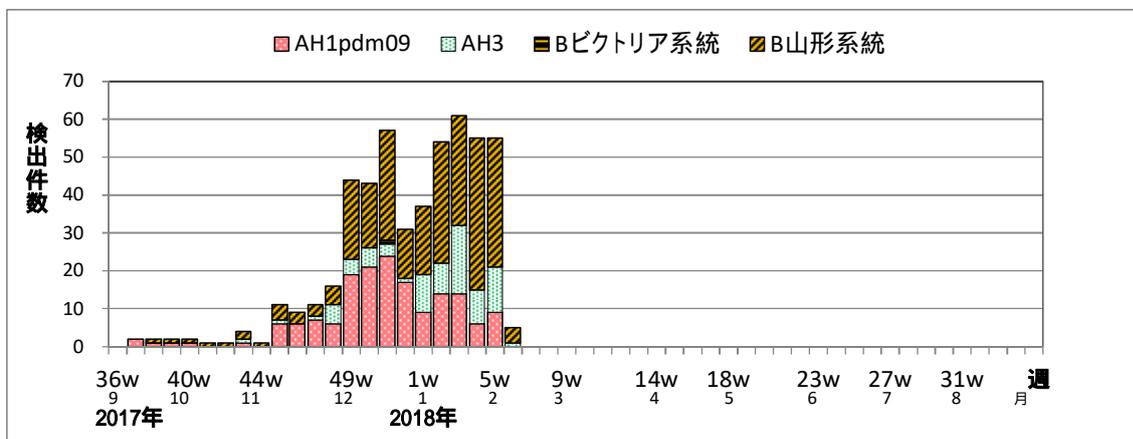


図3 各週における報告患者の年齢（割合）



AH3とB山形系統の重複検出(3検体)を含む

図4 AH1pdm09、AH3、B（ビクトリア系統、山形系統）の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第6週)

(2018年2月13日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2017年 累計		今週 届出	累 計	2017年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1280	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ		1		腸チフス		1	3
細菌性赤痢			7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		3	246				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	2	3	19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	6	99
つつが虫病		1	2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	7	53	水痘*			12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	5	57	梅毒		16	232
急性脳炎	2	12	45	播種性クリプトコックス症		1	3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	21	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			12
後天性免疫不全症候群		1	34	百日咳	4	14	-
ジアルジア症				風しん		1	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	20	麻しん			5
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	2	8
侵襲性肺炎球菌感染症	3	23	131				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計  
\*2017年累計は暫定値です。  
\*結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(1月分)

1月の届出総数は、患者49人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者13人の計63人で、患者数は前月の57人より減少し、前年同月の76人と比較しても少なかった。無症状病原体保有者数は前月より大きく減少し、前年の同月と比較しても少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2017年1月～2018年1月)

	2017年*												2018年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計**
<b>総計</b>	100	105	109	100	120	115	109	119	107	123	95	99	63	63
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	0	2	2	4	5	2	4	6	8	3	1	3	0	0
10歳代	1	1	5	0	3	0	1	5	1	5	5	1	4	4
20歳代	7	8	7	10	9	9	11	9	8	13	5	16	8	8
30歳代	12	5	6	7	14	8	9	5	11	8	10	9	3	3
40歳代	6	15	12	7	13	8	12	16	13	20	9	9	8	8
50歳代	7	6	10	13	8	14	11	7	13	16	16	12	8	8
60歳代	25	21	18	12	19	20	12	15	13	15	6	9	7	7
70歳代	20	18	26	18	18	22	23	18	18	17	21	17	13	13
80歳以上	22	29	23	29	31	32	26	38	22	26	22	23	12	12
<b>性</b>														
男	69	62	67	64	75	67	64	63	49	65	47	52	37	37
女	31	43	42	36	45	48	45	56	58	58	48	47	26	26
<b>類型</b>														
患者	76	77	77	69	89	80	83	76	56	66	53	57	49	49
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	1
無症状病原体保有者	24	28	31	31	31	35	25	43	50	55	41	41	13	13
<b>病型</b>														
肺結核	55	58	57	52	63	66	62	52	48	51	41	41	33	33
肺結核及びその他の結核	5	4	6	6	8	4	3	8	2	3	2	1	7	7
その他の結核	16	15	14	11	18	10	18	16	6	12	10	15	9	9
疑似症患者	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	1
無症状病原体保有者	24	28	31	31	31	35	25	43	50	55	41	41	13	13

\*:2017年の届出数は暫定値

\*\* :2018年1月からの累積届出数

1月に診断された63人を病型別にみると、肺結核は10歳未満及び20歳代を除く年齢階級から計33人の報告があった。無症状病原体保有者は、10歳未満、60歳代及び80歳以上を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2018年1月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
<b>総計</b>	33	7	9	1	13	63
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	1	1	0	0	2	4
20歳代	0	0	2	1	5	8
30歳代	2	0	0	0	1	3
40歳代	4	1	1	0	2	8
50歳代	4	3	0	0	1	8
60歳代	6	1	0	0	0	7
70歳代	8	0	3	0	2	13
80歳以上	8	1	3	0	0	12



感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第6週 平成30年2月5日～平成30年2月11日)

	合計		-6ヵ月		12ヵ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10-14		15-19		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80～					
	13,100	36	137	377	459	625	889	964	977	869	838	741	2,132	627	469	622	929	528	443	264	174																									
インフルエンザ #1	64	18	18	14	6	3	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
RSウイルス感染症	33	-	3	11	5	6	3	-	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
咽頭結膜熱	468	-	-	17	18	37	60	64	75	54	32	48	7	20																																
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	799	2	26	80	66	72	71	55	59	43	33	29	123	30	110																															
感染性胃腸炎	72	2	-	4	4	2	4	10	10	7	13	5	9	1	1																															
水痘	5	-	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-																															
手足口病	5	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-																															
伝染性紅斑	57	-	16	33	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																															
突発性発しん	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-																															
ヘルパンギーナ	10	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	1	3	-	-																															
流行性耳下腺炎	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～																										
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	30	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	5	3	6	3	4	3																										
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～																													
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	33	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	23																													

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第4週 (1月22日～1月28日)

平成30年2月14日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(77.35)、大分県(74.76)、埼玉県(65.41)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は2,055例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(67例)、1～9歳(418例)、10代(98例)、20代(16例)、30代(29例)、40代(46例)、50代(71例)、60代(211例)、70代(358例)、80歳以上(741例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の報告数は1,564例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、鹿児島県(0.85)、新潟県(0.81)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(7.58)、山形県(5.53)、石川県(5.31)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(16.00)、宮崎県(9.61)、鹿児島県(9.20)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.77)、大分県(0.67)、富山県(0.66)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.89)、佐賀県(1.09)、鹿児島県(0.95)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は神奈川県(0.30)、岩手県(0.28)、福島県(0.22)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.76)、宮崎県(0.61)、岩手県(0.50)である。

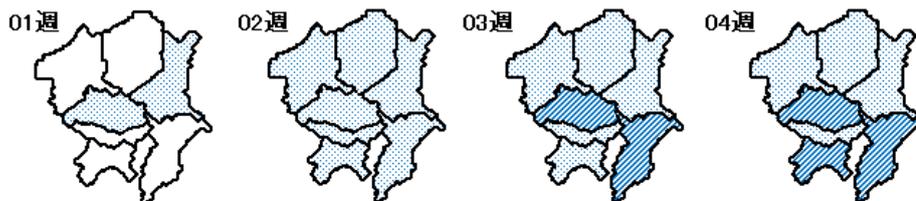
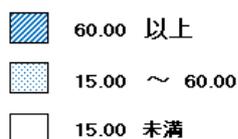
**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.13)、愛媛県(0.83)、石川県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。14府県から31例報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～4歳(14例)、5～9歳(13例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第4週(1月22日～1月28日): 通巻第20巻 第4号 より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(65.41)、神奈川県(63.36)、千葉県(63.24)からの報告が多い。

### インフルエンザ



平成30年 04週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	259,063	88,801	6,017	3,252	4,637	16,745	13,533	22,504	22,113
	定点当たり	52.35	58.46	50.14	42.79	52.69	65.41	63.24	54.10	63.36
RSウイルス感染症	報告数	1,564	274	27	21	10	53	34	87	42
	定点当たり	0.49	0.29	0.36	0.44	0.19	0.33	0.25	0.33	0.19
咽頭結膜熱	報告数	976	202	21	8	27	33	24	44	45
	定点当たり	0.31	0.21	0.28	0.17	0.50	0.20	0.18	0.17	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,976	2,441	229	57	137	480	337	720	481
	定点当たり	2.52	2.56	3.05	1.19	2.54	2.96	2.50	2.74	2.21
感染性胃腸炎	報告数	16,200	4,593	273	119	288	852	645	1,426	990
	定点当たり	5.12	4.81	3.64	2.48	5.33	5.26	4.78	5.42	4.54
水痘	報告数	921	296	28	15	16	66	41	53	77
	定点当たり	0.29	0.31	0.37	0.31	0.30	0.41	0.30	0.20	0.35
手足口病	報告数	724	73	5	4	3	12	11	23	15
	定点当たり	0.23	0.08	0.07	0.08	0.06	0.07	0.08	0.09	0.07
伝染性紅斑	報告数	251	151	3	7	7	27	10	32	65
	定点当たり	0.08	0.16	0.04	0.15	0.13	0.17	0.07	0.12	0.30
突発性発しん	報告数	1,013	310	14	17	18	50	23	109	79
	定点当たり	0.32	0.32	0.19	0.35	0.33	0.31	0.17	0.41	0.36
ヘルパンギーナ	報告数	57	11	2	-	1	1	2	1	4
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	-	0.02	0.01	0.01	0.00	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	459	82	5	2	13	9	6	25	22
	定点当たり	0.15	0.09	0.07	0.04	0.24	0.06	0.04	0.10	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	-	1	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.07	0.02	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	398	165	14	16	17	24	18	9	67
	定点当たり	0.57	0.79	0.82	1.33	1.13	0.59	0.51	0.24	1.31
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	0.22	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	2	-	-	-	-	2	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	0.22	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	96	18	6	5	4	-	-	3	-
	定点当たり	0.20	0.22	0.46	0.71	0.44	-	-	0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	31	2	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.06	0.02	-	-	-	-	-	-	0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2018年 > 感染症の流行状況 2018年 第6週

感染症発生動向調査 2018年

- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)

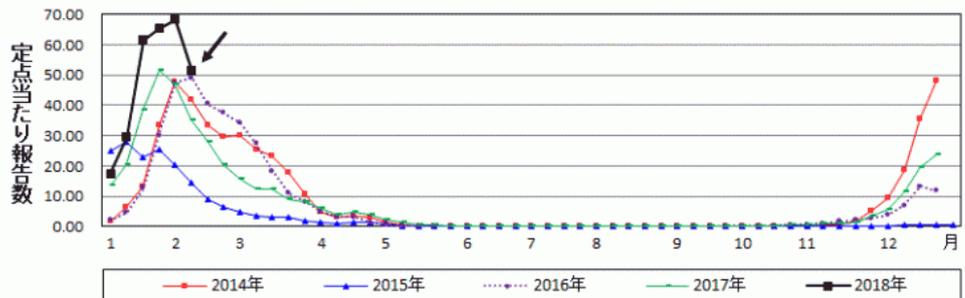
感染症の流行状況 2018年 第6週

2018年第6週（平成30年2月5日～2月11日）の要点 平成30年2月14日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週よりも減少しましたが、高い水準となっています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↑	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン